

第129回エイズ動向委員会

委員長コメント

《平成24年第1四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成23年12月26日～平成24年3月25日までの約3か月
2. HIV感染者報告数は246件（前回報告294件、前年同時期243件）で、過去17位
そのうち男性231件、女性15件で、男性は前回（274件）より減少、前年同時期（226件）より増加、女性は前回（20件）及び前年同時期（17件）より減少
3. AIDS患者報告数は105件（前回報告106件、前年同時期117件）で、過去19位
そのうち男性101件、女性4件で、男性は前回（94件）より増加、前年同時期（107件）より減少、女性は前回（12件）及び前年同時期（10件）より減少
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は351件で過去17位
5. HIV感染者及びAIDS患者の合計の累計数は20,284件で、今回の四半期に20,000件を超えた。

【感染経路・年齢等の動向】

1. HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが168件（全HIV感染者報告数の約68%）
そのうち159件が日本国籍男性
 - 異性間性的接触によるものが54件（全HIV感染者報告数の約22%）
そのうち男性42件、女性12件
 - 静注薬物によるものは0件
 - 年齢別では、20～30代が多い
2. AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが60件（全AIDS患者報告数の約57%）
 - 異性間性的接触によるものが20件（全AIDS患者報告数の約19%）
そのうち男性17件、女性3件
 - 静注薬物によるものは1件
 - 年齢別では、30代以上に多い

【検査・相談件数の概況（平成24年1月～3月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数（速報値）は24,824件（前回報告28,627件、前年同時期24,551件）、自治体が実施する保健所以外の検査件数（速報値）は7,171件（前回報告8,256件、前年同時期6,730件）
2. 保健所等における相談件数（速報値）は39,716件（前回報告44,239件、前年同時期39,037件）

HIV抗体検査件数・相談件数はともに横ばいである。

【献血の概況（平成24年1月～3月）】

1. 献血件数（速報値）は1,325,793件（前年同時期速報値1,327,109件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は14件（前年同時期速報値29件）
10万件当たりの陽性件数（速報値）は1.056件（前年同時期速報値2.185件）

《まとめ》

1. HIV感染者数は前回よりやや減少したが、AIDS患者数は前回とほぼ同数であった。なお、HIV感染者及びAIDS患者報告数の合計の累計が初めて2万件を超えた。
2. HIV抗体検査件数及び相談件数は横ばいの傾向にある。
3. 早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に利用していただきたい。